特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の 復 類記号 KPO-0408-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2004/015486	国際出願日 (日.月.年) 20.10.2004	優先日 (日.月.年) 12.11.2003	
国際特許分類(IPC) Int.Cl. ⁷ H01Q9/28, 1/38, 1/40		3,	
出願人 (氏名又は名称) 株式会社秀峰			

		•	
	t、PCT35 条に基づきこの国 第 57 条(PCT36 条)の規定に		れた国際予備審査報告である。
2. この国際予備	帯審査報告は、この表紙を含めて	全部で4	ページからなる。
	ま次の附属物件も孫付されている 書類は全部で	- •	
	正されて、この報告の基礎とされ 及び/又は図面の用紙(PCT類		R予備審査機関が認めた訂正を含む明細苷、請求の錠 第 607 号参照)
	I 棡4.及び補充棡に示したよ。 際予備審査機関が認定した差替。		I際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
b. 電子 配列 プルを		コンピュータ読み取りī 祝) 。	(電子媒体の種類、数を示す)。 可能な形式による配列表又は配列表に関連するテー
4. この国際予備	備審査報告は、次の内容を含む。		
	第IV欄 発明の単一性の欠如	業上の利用可能性についます。	いての国際予備審査報告の不作成 産業上の利用可能性についての見解、それを 築 付
· <u>_</u>	第VI欄 ある種の引用文献 第VI欄 国際出願の不備 第VI欄 国際出願に対する意見	•••	

国際予備審査の請求書を受理した日 25.11.2004	国際予備審査報告を作成した日 04.10.2005	· ·		
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	5 T	4235	
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	吉村 伊佐雄			
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 p	9線 35	6 8	

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015486

第1枚	報告の基礎		
, -	の国際予備事本和生は	TERRE - NO CO	
			か、国際出願の言語を基礎とした。
	この報告は、	語による翻訳文:	を基礎とした。
	それは、次の目的で	是出された翻訳文の言語で	ある。
	PCT規則12.32	をび23.1(b)にいう国際関査	Ē
i	PCT相則55.27	こいう国際公開 ては55.3にいう国際予備審3	*
•	1 O 1 McM 300. 27	くは00.3にV・ソ四欧丁畑番5	
2. こ た 差 替	の報告は下記の出願書 え用紙は、この報告に	類を基礎とした。(法第6 おいて「出願時」とし、こ	条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され の報告に添付していない。)
ī			
Γ	21/JM E		
	第	ページ	、出願時に提出されたもの
	第	ページ	、出願時に提出されたもの *、 付けで国際予備審査機関が受理したもの *、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第	ページ	*、付けで国際予備審査機関が受理したもの
<u></u>	請求の籤囲		
		. 荷	、出願時に提出されたもの
	第		、 山城時に促出されたもの *、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
	郑		*、 付けで国際予備強大機関は延押しよる。
	第	項	*、付けで国際予備審査機関が受理したもの
_			
,	الما فيما		
	新	ページ/図	、出願時に提出されたもの
	第	ペーシ/図:	*、付けで国際予備審査機関が受理したもの
			*、付けで国際予備審査機関が受理したもの
Г	10/14/A(50) (E)	テーブル 補充欄を参照すること。	•
	HL71AXTC (C) Y O	備元幅を参照すること。	
2 -	特ににより 工門のま	Markot te Walton I	
J.,	補正により、下記の	骨類が削除された。	•
	門和暋	第	ベージ
	一 請求の範囲	第	
	四面 図面	第	ページ/図
		こ記載すること)	
	BCが次に関連する	5テーブル(具体的に記載	すること)
1. T	この報告は、補充欄に	ニ示したように、この報告に	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
	えてされたものと認め	られるので、その補正がき	されなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
	F 明細書		
	一 請求の範囲	第	ベージ 項
	図面	第	
	配列表 (具体的)	-記載すること)	
	配列表に関連する	テーブル(具体的に記載す	すること)
			İ
	e Str ate de la compa		<u>}</u>
≠ 4. K	- 以当する場合、その用	紙に「superseded」と記り	くされることがある。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015486

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明

請求の範囲

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-17	
AIMELE (IV)		有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-17	無
	Miles - Acted	
在世上の利用で始め (* *)	Bits also as well as a second	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-17	右

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP 2-256304 A (株式会社本田電子技研) 1990.10.1 7,全文,全図 (ファミリーなし)

文献2: JP 2003-90903 A (株式会社秀峰) 2003.03.28, 全文,全図 (ファミリーなし)

請求の範囲1-17に係る発明は、国際調査報告で提示した文献1、2により進歩性を有しない。

すなわち、文献 1 には、フィルムに、メッシュ状に配線されたアンテナが記載されている。

また、文献2には、メッシュ状の導電部材の形成方法が記載されている。

文献1において、適宜文献2のような何らかの形成方法を用いてメッシュを形成することは、当業者が適宜なし得たことである。

そしてその寸法をどの程度とするか、アンテナをどのような部材に適用するか等は、当業者が所望により選択し得る設計的事項に過ぎない。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015486

第WI欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲1において、「マイクロ画像要素線」あるいは「併列要素線」という語 句が記載されているが、どのようなものを意味しているのか不明である。

請求の範囲13-16において、「電磁波エネルギー処理装置」と記載されているが、 具体的にどのようなものを意味するものか不明である。

明細書中において、[0018]で、「画像の鮮明度合いを目視により比較した・・・本実施例1によるものは・・・各チャンネルにおいて鮮明な画像が得られることを確認した」とされているが、アンテナにより受信された画像情報を、何らかの処理回路を介して撮像した画像について、目視によって確認したことのみによって、そのアンテナの効果が客観的に示されるものとは認められず(通常、アンテナの性能は、受信レベル等によって数値的に評価されるものと推量される。)、本願発明が、どのような技術的根拠に基づき発明され、その結果どの程度、従来と比較して、どのような効果が得られるものであるか不明である。